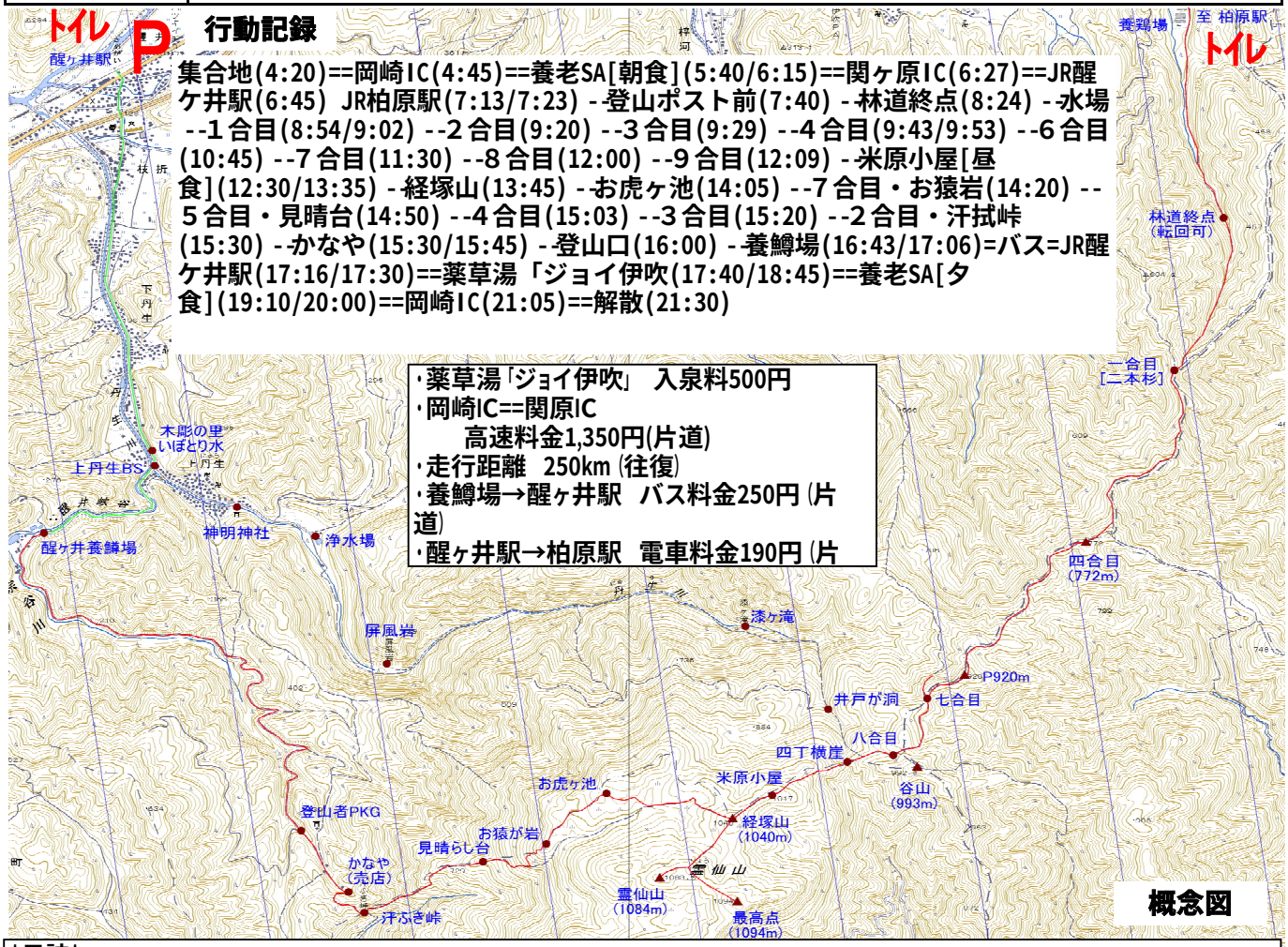
山行報告書

報告書作成	2012年4月15日

山名 [山域]	霊仙山 [鈴鹿北部]	目的と方法	恒例の私的山開き
登山期間	2012年4月1日	山行形態	日帰りハイキング
参加人数	6名		



行動記録

集合地(4:20)==岡崎IC(4:45)==養老SA[朝食](5:40/6:15)==関ヶ原IC(6:27)==JR醒ケ井駅(6:45) JR柏原駅(7:13/7:23) -登山ポスト前(7:40) -林道終点(8:24) -水場 --1合目(8:54/9:02) --2合目(9:20) --3合目(9:29) --4合目(9:43/9:53) --6合目(10:45) --7合目(11:30) --8合目(12:00) --9合目(12:09) -米原小屋[昼食](12:30/13:35) -経塚山(13:45) -お虎ヶ池(14:05) --7合目・お猿岩(14:20) --5合目・見晴台(14:50) --4合目(15:03) --3合目(15:20) --2合目・汗拭峠(15:30) -かなや(15:30/15:45) -登山口(16:00) -養鱒場(16:43/17:06)=バス=JR醒ケ井駅(17:16/17:30)==薬草湯「ジョイ伊吹(17:40/18:45)==養老SA[夕食](19:10/20:00)==岡崎IC(21:05)==解散(21:30)

・薬草湯「ジョイ伊吹」 入泉料500円
・岡崎IC==関原IC
　高速料金1,350円(片道)
・走行距離 250km (往復)
・養鱒場→醒ヶ井駅 バス料金250円 (片道)
・醒ヶ井駅→柏原駅 電車料金190円 (片

日誌

柏原駅から民家を通り抜けて行くと登山ポストがある。未記入の登山届がポスト内に備えつけられていた。養鶏場脇の林道をひたすら歩く。林道終点から1合目までは雪解け直後とあり、落石、倒木、地割れなどで少々荒れていた。周囲を気にしつつ進む。目を凝らすと登山道脇に白い小さな花が咲いていた。まだ草木が生い茂る前の、季節の変わり目に現れてすぐに消えてしまう花だという。そうして周りの木々に目をやっても春の気配を感じることはできなかった。今は雪がちらついている。1合目は2本の杉の大木の下にある。そこから先は少しの間稜線に出るので視界が明るく歩きやすい。粉雪が降ったり止んだりしている。2合目辺りに来ると雪が少し残っていた。空は曇っているが、周りの山々はよく見えた。すぐ隣の山には雪が無いのにな…と思う。4合目に経年劣化していくコンテナの小屋があった。その中で休憩している頃は気温零度、粉雪がしんしんと降って来たため、カッパを着た。濡れては困る。季節をさかのぼるようにどんどん雪が増えていくので、読図をしつつ斜面を斜めに登っていく。6合目を超えた辺りで雪渓に出た。一人ずつ穴に落ちる。怖がって用心して通り過ぎようとしても落ちてしまった。皆で盛り上がって楽しんだ。7合目過ぎた辺りからはいよいよ雪山の様相で、急登をキックステップし、コツを教えてもらいながら登る。9合目までは雪と風のなかを歩いた。今日は米原小屋で昼食をとることにした。すでに昼近くになっていたため、小屋手前の急な登り坂を一気に登った。小屋の中は2室に分かれていて、私たちは仮眠用の部屋を使わせてもらった。お神酒とウインナー、Oさんお手製カレーうどんは具沢山でトロリとしてとても美味しかった。小屋の中は私たち以外の数組のパーティもそれぞれに盛り上がっていたようだ。

せっかくポカポカに暖まったお腹が一気に冷えるような強い風が吹いていた。強風で飛ばされる雪の小さな塊が顔に当たって痛い。身を小さくして歩く。山頂行きをを見送って経塚山を通過する。すぐに風は止んだ。お虎ヶ池に到着。霊仙の鹿が一気に飲んだら枯れてしまいそうな小さな池なのだが、立派な鳥居があり、ここで皆で山行の安全を祈願した。お猿が岩の辺りはうっすら雪景色である。去年は地面が完全に見えていたのに。

ここからである。本日のメインはカレーうどんでは無かった。泥んこ遊び真剣勝負が用意されていた。雪解け水と柔らかい土がどろんどろんに混ざり、林道と斜面を覆っていた。立っているだけでも滑るのだ。先の女性パーティの悲鳴が聞こえる。容赦の無い泥の中で緊張が続いた。そして転んだ。5合目の見晴らし台でようやく一息つくことができた。途中、小さな春の花に出合い、あとは「かなや」まで下り最後の休憩をとった。内容がかなり充実していたおかげで、バスの時間にあまり余裕がなく、最後の林道はペースを上げて歩いた。醒ケ井駅に着く頃は17時を過ぎていたが、日が長くなったな…と感じながら帰り支度をした。

感想

お産がどれだけ大変だろうが2人目3人目と産んでしまうように、泥でえらい目にあってもまた来る!!!と言っていた女性パー